



平成30年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社 ラピーヌ

上場取引所 東

コード番号 8143 URL <http://www.lapine.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青井 康弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 尾崎 史照

TEL 06-6358-2256

四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	7,623	0.2	418		441		415	
29年2月期第3四半期	7,641	6.7	96		138		349	

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 416百万円 (%) 29年2月期第3四半期 305百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	178.58	176.08
29年2月期第3四半期	150.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	9,752	5,745	58.6
29年2月期	9,127	5,329	58.1

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 5,717百万円 29年2月期 5,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期		0.00		0.00	0.00
30年2月期		0.00			
30年2月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	0.6	200		220		200		86.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	2,767,064 株	29年2月期	2,767,064 株
期末自己株式数	30年2月期3Q	440,646 株	29年2月期	443,121 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	2,325,342 株	29年2月期3Q	2,320,145 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、1株当たり情報の端数処理方法につきましては、有価証券報告書、四半期報告書に合わせて、切捨てとしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益向上や雇用環境改善が続く中、政府による各種施策の効果と相まって景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、一方で、欧米を中心とする海外経済の不確実性や地政学リスクなどが懸念され、景気の先行きに不透明な状況が続いております。

当社グループが属するアパレル業界におきましては、インバウンド需要の復調傾向や、株価の上昇による資産効果などにより高額品が好調に推移し、消費回復の兆しがあるものの、衣料品消費全般では、消費者の節約意識は依然根強い上、天候不順の影響も重なり、個人消費は引き続き力強さに欠ける状況が続く、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画「NL2020」に掲げる「ブランド力を磨く」と「ショップビジネスを伸ばす」を重点目標に、主力である卸売事業の安定した収益基盤確立のために採算性を重視した販売先との取引拡充、正価販売促進に努めるとともに、小売事業の拡大に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は76億23百万円（前年同期比0.2%減）となりましたものの、損益面におきましては、売上総利益率の回復と販売費及び一般管理費の低減により、営業利益は4億18百万円（前年同期は96百万円の損失）、経常利益は4億41百万円（前年同期は1億38百万円の損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億15百万円（前年同期は3億49百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績の概要は次のとおりであります。

<卸売事業>

事業本部毎に取り扱いブランドの強みを活かし、販売先、消費者へブランド力をアピールする積極的な営業活動を行い、業績確保に努めてまいりました。

当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は54億72百万円（前年同期比4.7%減）となりましたが、営業利益は4億1百万円（前年同期比392.5%増）となりました。

<小売事業>

当社子会社の株式会社ベルラピカが運営する婦人服・服飾雑貨小売店「ベルミラン」、セレクトショップ「スクラップブック」、「ラグライア」、当社が運営する直輸入レザーコレクションの「m0851」それぞれのブランド特性を活かしたショップ運営、商品品揃え、販売促進施策などにより、当期に新規出店した店舗の早期軌道化、既存店の売上確保に取り組んでまいりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の運営店舗数は当社グループ合計で53店となっております。

当事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は21億40百万円（前年同期比13.4%増）となり、営業利益は44百万円（前年同期は1億46百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億24百万円増加し、97億52百万円となりました。これは主に、季節変動による商品及び製品の増加4億25百万円、受取手形及び売掛金の増加3億99百万円があったことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億8百万円増加し、40億7百万円となりました。これは主に、短期・長期借入金が前連結会計年度末に比べて2億6百万円の純増になったことによるものです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億16百万円増加し、57億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月12日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,803	858,691
受取手形及び売掛金	1,039,763	1,439,000
商品及び製品	1,552,400	1,977,715
仕掛品	278,366	150,755
原材料及び貯蔵品	42,343	37,095
その他	163,891	108,904
貸倒引当金	△1,382	△1,658
流動資産合計	3,923,186	4,570,504
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,022,878	978,364
機械装置及び運搬具（純額）	10,773	23,102
土地	3,180,659	3,180,332
建設仮勘定	1,701	—
その他（純額）	81,759	70,590
有形固定資産合計	4,297,771	4,252,389
無形固定資産		
その他	19,063	19,303
無形固定資産合計	19,063	19,303
投資その他の資産		
投資有価証券	256,757	268,323
差入保証金	580,649	589,595
その他	85,595	87,871
貸倒引当金	△35,063	△35,344
投資その他の資産合計	887,939	910,446
固定資産合計	5,204,774	5,182,139
資産合計	9,127,961	9,752,644

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	536,522	359,782
電子記録債務	208,009	381,973
短期借入金	1,050,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	590,384	487,884
未払金	476,411	360,842
未払費用	36,847	60,452
未払法人税等	41,590	59,579
返品調整引当金	40,100	84,600
ポイント引当金	40,740	42,504
資産除去債務	—	2,020
その他	37,742	97,059
流動負債合計	3,058,350	2,636,698
固定負債		
長期借入金	406,038	1,065,125
退職給付に係る負債	151,124	119,028
資産除去債務	56,254	62,779
その他	126,647	123,441
固定負債合計	740,063	1,370,374
負債合計	3,798,413	4,007,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,354,021	4,354,021
資本剰余金	2,019,250	1,315,637
利益剰余金	△695,635	422,156
自己株式	△539,816	△536,674
株主資本合計	5,137,819	5,555,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	111,910	118,552
退職給付に係る調整累計額	49,199	43,573
その他の包括利益累計額合計	161,109	162,125
新株予約権	30,618	28,303
純資産合計	5,329,547	5,745,570
負債純資産合計	9,127,961	9,752,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	7,641,697	7,623,585
売上原価	4,171,098	3,853,468
売上総利益	3,470,598	3,770,117
販売費及び一般管理費	3,566,653	3,351,432
営業利益又は営業損失(△)	△96,054	418,684
営業外収益		
受取利息	869	62
受取配当金	2,691	2,734
為替差益	—	2,267
助成金収入	16,639	16,616
生命保険配当金	10,859	10,110
その他	16,736	12,841
営業外収益合計	47,797	44,633
営業外費用		
支払利息	17,613	16,556
支払手数料	70,665	4,314
為替差損	777	—
その他	685	677
営業外費用合計	89,742	21,548
経常利益又は経常損失(△)	△138,000	441,769
特別利益		
固定資産売却益	—	25,784
特別利益合計	—	25,784
特別損失		
固定資産除売却損	8,704	4,323
減損損失	47,481	4,439
事業所閉鎖損失	22,293	1,206
その他	1,185	—
特別損失合計	79,665	9,970
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△217,666	457,584
法人税、住民税及び事業税	20,392	40,136
法人税等調整額	111,754	2,175
法人税等合計	132,147	42,312
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△349,813	415,272
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△349,813	415,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△349,813	415,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,050	6,642
繰延ヘッジ損益	3,852	—
退職給付に係る調整額	△3,895	△5,626
その他の包括利益合計	44,007	1,016
四半期包括利益	△305,805	416,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△305,805	416,288
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月26日開催の第69回定時株主総会において、次のとおり資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決され、平成29年7月10日に効力が発生しております。なお、本件は「純資産の部」の振替処分であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

1. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行う目的

今後の資本政策の柔軟性の確保と早期復配体制の実現を目的として、資本準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替え、振り替え後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填を行う。

2. 資本準備金の額の減少の要領

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の全額を減少させ、その他資本剰余金に振り替える。

(1) 減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 2,002,723千円のうち、2,002,723千円（全額）

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 2,002,723千円

3. 剰余金の処分の要領

会社法第452条の規定に基づき、上記2.による振り替え後のその他資本剰余金の一部を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損補填に充当する。

(1) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 702,519千円

(2) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 702,519千円

以上の結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が702,519千円減少し、利益剰余金が702,519千円増加しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年3月1日至平成28年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,741,883	1,887,874	7,629,758	11,939	—	7,641,697
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,741,883	1,887,874	7,629,758	11,939	—	7,641,697
セグメント利益又は損失(△)	81,513	△146,795	△65,281	△30,773	—	△96,054

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「卸売事業」セグメントにおいて930千円、「小売事業」セグメントにおいて19,584千円の減損損失を計上しており、各報告セグメントに帰属しない全社資産で、売却の意思決定がされた福利厚生施設の売却に伴い26,966千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成29年3月1日至平成29年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売事業	小売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	5,472,162	2,140,650	7,612,812	10,773	—	7,623,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,472,162	2,140,650	7,612,812	10,773	—	7,623,585
セグメント利益又は損失(△)	401,478	44,834	446,312	△27,627	—	418,684

(注) 1 「その他」の区分は、「ラピーヌ夢ファーム株式会社」にかかる金額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続の営業損失、営業活動によるキャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在していることを認識しております。

しかしながら、当該事象又は状況を解消、早期の業績回復を実現するため、製造・仕入圧縮、持ち越し在庫削減、不採算ブランド廃止並びに不採算取引の中止など粗利益率改善及び固定費の圧縮による柔軟な損益構造への転換、中長期成長戦略として小売事業の強化等の実行策を策定して取り組んでおり、今後も継続して推進してまいります。

以上により、収益力の回復、経営基盤の強化に努め、また、資金調達についても安定的に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。